

みやまえナビ No. 6



和歌山市立宮前小学校学校だより

平成28年10月11日

(2016)

校長 坂本 雅城

ホームページアドレス www6.wakayama-wky.ed.jp/miyamae/

子どもの伸びを見極め、周りがサポート！

空の色も澄み、山の木々が秋のよそおいを始めるころとなってまいりました。芸術、運動、読書、学習、何をするにも絶好の季節となりました。運動会が終了し、次の目標に向かって進んで行ってもらいたいと願っています。保護者の皆様も、秋の夜長をできるだけ子どもたちと一緒にすごしていただき、充実した時間にして欲しいと思います。

さて、子どもの成長にとって、一番大事な部分は「根っこ」、根っこを育むことです。よい根が出来れば、よい実が出来ます。そのために大事なことは、水や肥料のやり方です。特に、肥料は多く与えずぎてはいけません。毎日毎日、丹念に状態を見てやり、丁寧に水を撒きます。果物の根が根付くには、思いのほか時間がかかります。根に水をやる時、根もとにたくさんの水を注ぎがちですが、根がどこまで張っているかを慎重に見極めながら、そのちょっと先のエリアに水を撒いてやるのがいいのです。そうすると根は自分の力でグッと伸びようとします。そして、しっかり土壌に根付き、風が吹いても倒れにくくなります。教育の極意に通じるものがあります。子どもたちの成長にとって、一番大事な部分は見た目の鮮やかな花の部分ではなく、目に見えず、目立たない「根っこ」の部分なのです。その根っこが成長するような働きかけをできるだけたくさんしていきましょう。

子どもの成長を考えると、「家庭」と「学校」と「地域」とが3本の竹となるのが大事です。学力を育てる3本の竹も、「家庭」と「学校」と「地域」です。自分で育っていけるようなしっかりした根を張り、自立し、自分の足で歩けるようになるまでには、家庭、学校、地域社会が手を携え、適切なサポートをすることが必要不可欠なのです。それまで、子どもたちを見守り、指導・支援しなければなりません。子どもの場合、少なくとも中学校を卒業する時点まで、『3本の竹(家庭、学校、地域)』で支えてやらなければならない期間です。すぐ手を出

して手伝ってしまう“過保護”でも、見守ることなく放りっぱなしの“放任”でもない、その子に合ったサポート『良い加減』に見守ってもらいたいものです。今後とも宜しく願いいたします。



10日(火) 体育の日

12日(水) フォローアップ教室

13日(木) 移動図書館

14日(金) 同和参観・懇談会

18日(火) 就学時健診

19日(水) フォローアップ教室

22日(土) 親子体力測定

24日(月) 不審者対応避難訓練

25日(火) 教員研修会のため12:50下校

27日(木) 遠足(1~5年)

29日(土) わたしたちの工夫展(~30日)

校内清掃(育友会行事)

運動会では、応援ありがとうございました。
子どもたちのがんばりに、たくさんの感動がありました。
また、マナーを守って観ていただいたおかげで、気持ちよく進行できました。お礼申し上げます。



文化庁のオペラ鑑賞がありました。体育館中に迫力のある歌声が響き渡り、子ども達も一緒に歌うなど楽しいひと時でした。



14日(金)の懇談会は、
学級のこと、子どもたちのことをじっくり話し合い、交流する大切な時間です。ぜひ、ご参加ください。今回もお子様をお預かりします。会議室で宿題をした後、交流室でビデオを観ます。

警報発表時の待機児童の引渡しについて、時間がかかりご迷惑をおかけしました。次回からは、名前の確認ができた学年から順次お引渡ししていきたいと考えております。なお、車でのお迎えは大変支障をきたしますので、おやめください。